

平成30年度平塚市転入出者アンケート調査の結果について

子育て世代を中心に、本市への転入理由を把握するとともに、本市からの転出理由を調査し、本市の強みや弱み等を把握することで、今後の施策立案の基礎資料とすることを目的に、平成27年度に続いて、2回目の転入出者アンケート調査を実施しました。

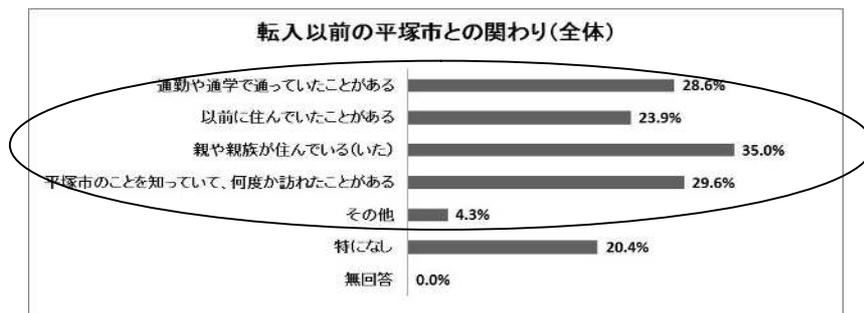
1. 調査の概要

- ・調査対象 平成29年1月1日から平成29年12月31日における転入出者のうち、「25～39歳の男女」かつ「東京都または神奈川県内他市町村から平塚市への転入者」、「平塚市から東京都または神奈川県内他市町村への転出者」に該当する各々1,000人
- ・抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- ・調査方法 郵送配布、郵送回収（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）
- ・調査期間 平成31年1月11日（金）～1月25日（金）
- ・有効回答数 転入者 280件（28.3%） 転出者 245件（26.4%）

2. 転入者アンケート調査結果概要

『転入前の本市との関わり（複数回答可）』

- ・特になしと無回答を除いた、平塚市と何らかの関わりがあった方は全体の79.6%でした。



『転入のきっかけ（複数回答可）』

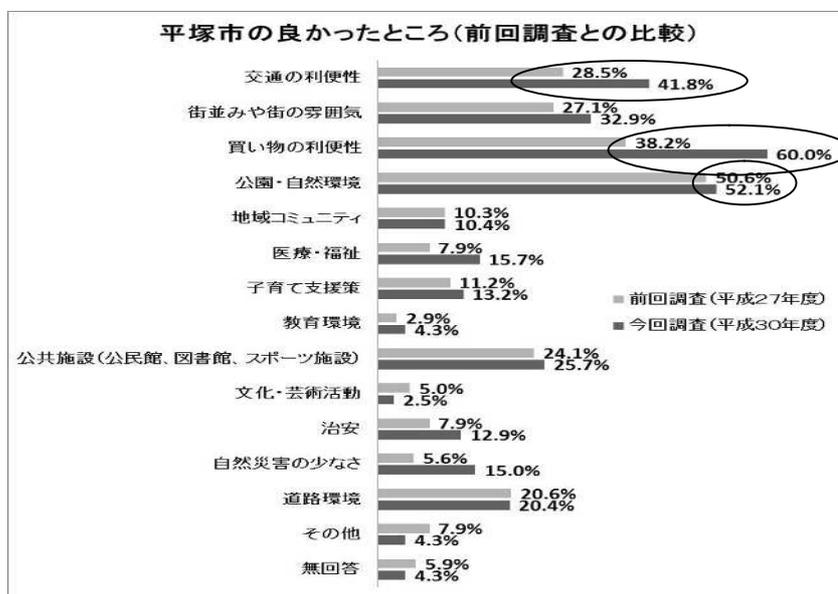
- ・転入することになったきっかけは、「住宅の都合」が最も高く35.7%、次いで、「結婚」が25.0%、「仕事上の都合」が22.5%が続いています。

『転入先を平塚市に決めた理由』

- ・転入先を本市に決めた主な理由を1つ聞いたところ、「住宅の条件（価格、広さ、日当たり、静けさ）」が33.9%で最も高く、「通勤・通学時間」が26.8%、「家族・親族・知人が近くに住んでいる、住んでいた」が25.0%、「生まれ育ったところだから」が6.4%が続いています。

『平塚市に住んでみて良かったところ（複数回答可）』

- ・平塚市に住んでみて良かったところは、「買い物の利便性」が60.0%、次いで、「公園・自然環境」が52.1%、「交通の利便性」が41.8%、「街並みや街の雰囲気」が32.9%と続いています。
- ・さらに、平成27年度の前回調査と比較すると、「交通の利便性」が28.5%から41.8%に、「買い物の利便性」が38.2%から60.0%に、それぞれ大きく上昇しました。



『平塚市に住んでみて悪かったところ(複数回答可)』

- ・ 平塚市に住んでみて悪かったところは、「治安」が33.9%で最も高く、次いで、「交通の利便性」が26.1%、「道路環境」が18.2%と続いています。
- ・ ただし、平成27年度の前回調査と比較すると、「治安」が42.1%から33.9%に、「交通の利便性」が34.4%から26.1%に、「買い物の利便性」が22.1%から13.2%に、それぞれ減少しました。

『結果の考察』

平塚市に住んでみて良かったところは、「公園・自然環境」、「買い物の利便性」、「交通の利便性」の順に高い評価となっています。特に「買い物の利便性」、「交通の利便性」の評価は、前回調査より10~20ポイント程度高くなっており、大型商業施設の出店が好影響を与えているものと考えます。このことから、暮らしやすさを本市の魅力のひとつとして、市内外に広く伝えることが重要であると考えます。

また、転入者のうち約8割の方が、転入以前に本市と何かしらの関りを持っていることから、交流人口の増加やすでに居住している市民の生活満足度を高めることが重要であると考えます。

3. 転出者アンケート調査結果概要

『転出のきっかけ(複数回答可)』

- ・ 転出することになったきっかけは、「結婚」が46.9%で最も高く、次いで、「仕事上の都合(就職、転勤など)」が34.7%、「通勤・通学の利便性を高めるため」が23.3%が続いています。

『転出先を現在の市区町村に決めた理由(複数回答可)』

- ・ 「通勤・通学時間」が67.3%で最も高く、次いで、「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)」が34.3%、「家賃・住宅価格」が29.8%が続いています。

『平塚市へのUターン意向』

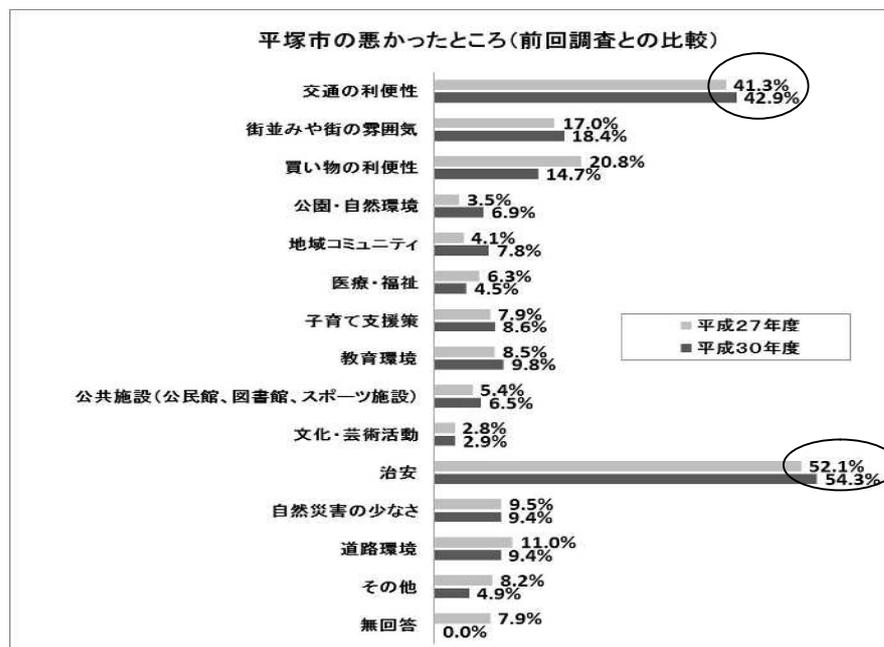
- ・ 「いずれ戻って住みたい」が10.2%、「可能であれば戻って住みたい」が33.9%で、Uターン意向がある方は44.1%でした。
- ・ Uターン意向がある方に、将来どのような状況になれば平塚市に戻って住みたいか聞いたところ、「平塚市の近くに就職・転勤・転職できたら」が39.8%で最も高く、次いで、「親との同居、または近くに住むことになったら」が25.9%、「希望に合う住宅が見つかったら」が18.5%と続いています。

『平塚市に住んでいて良かったところ（複数回答可）』

- ・ 転出前に平塚市に住んでいて良かったところは、「公園・自然環境」が51.0%、次いで、「買い物の利便性」が48.6%、「交通の利便性」が37.6%、「街並みや街の雰囲気」が35.9%と続いています。
- ・ 平成27年度の前回調査と比較すると、傾向は大きく変わりませんが、「交通の利便性」が31.2%から37.6%に増加しました。

『平塚市に住んでいて悪かったところ（複数回答可）』

- ・ 転出前に平塚市に住んでいて悪かったところは、「治安」が54.3%、「交通の利便性」が42.9%、「街並みや街の雰囲気」が18.4%と続いています。
- ・ 平成27年度の前回調査と比較すると、傾向は大きく変わりませんが、「買い物の利便性」が20.8%から14.7%に減少しました。



『結果の考察』

平塚市に住んでみて悪かったところは、「治安」「交通の利便性」が回答の過半数程度を占めています。本市の弱みを克服するため、治安に対するマイナスイメージの払しょくなど体感治安を改善させる取組や地域特性に応じた公共交通サービスの維持・改善を図ることが重要であると考えます。

また、転出者のうち4割以上の方にUターン意向があり、更にこのうち約4割の方が「平塚市もしくは近隣市で仕事をする」ことができれば、本市に戻って暮らしたいと回答していることから、魅力的・安定的な雇用機会の確保を図ることが重要であると考えます。

4. 全体総括

今回及び前回調査結果から、転入出のきっかけは「住宅の都合」、「結婚」、「仕事」となっており、転入出先は「住宅の条件（価格・間取り）」、「仕事（通勤時間）」、「家族との同居や近居」により決定されている傾向が確認できました。このことから、単独の施策で転入出の動機や移動先が決定されることはなく、個人的な事情も含んだ様々な市民ニーズや要因によって決定されると考えます。

調査結果を踏まえ、本市の強みや弱みを捉えた施策を展開するとともに、すでに居住している市民の生活満足度を高めるために、総合計画の重点施策である「地域経済の活性化」「子育て支援」「超高齢社会への対応」「安心・安全なまちづくり」を中心とした複数の施策に継続的に取り組むことが重要であると考えます。

『転入者』

「交通の利便性」が良いと答えた方の主な理由

- ・都内や横浜まで電車1本で通うことができる。
- ・始発電車があるため、座って通勤できる。
- ・高速道路のインターチェンジが近いため、通勤に便利である。

「街並みや街の雰囲気」が良いと答えた方の主な理由

- ・街の雰囲気がゆったりしていて、人が温かい。
- ・特に真田地区は街並みがきれいで、若い世代も多く活気がある。

「買い物の利便性」が良いと答えた方の主な理由

- ・大型商業施設が複数あり、スーパー等がたくさんあるので、近場（市内）で全ての物がそろろう。

「公園・自然環境」が良いと答えた方の主な理由

- ・総合公園をはじめ、公園が充実しているので、のびのびと子育てできる。
- ・海、山、川など自然が豊かである。

『転出者』

「交通の利便性」が良かったと答えた方の主な理由

- ・電車の本数が多く、快速が止まり、朝の始発電車もあるところ
- ・都内や横浜まで電車一本で行くことができ、また、鎌倉や箱根、熱海等の観光地にも近いところ
- ・バスの便が多く、また早朝から夜まで運行していた。

「街並みや街の雰囲気」が良かったと答えた方の主な理由

- ・街の雰囲気が静かでゆったりしていて、人が温かい。

「買い物の利便性」が良かったと答えた方の主な理由

- ・大型商業施設が複数あり、スーパー等がたくさんあるので、近場（市内）で全ての物がそろろう。

「公園・自然環境」が良かったと答えた方の主な理由

- ・海、山、川など自然が豊かで住みやすく、自然に囲まれて成長できた。
- ・総合公園が広く、整備されていて子どもにとって素晴らしい環境であった。

平塚市の強みとして捉え、市内外に情報発信していくことが重要と考えます。

『転入者』

「治安」が悪いと答えた方の主な理由

- ・ 駅周辺の治安が悪いと感じる。
- ・ 自転車等の盗難にあった。
- ・ 街路灯が少なく、暗い道路がある。

「交通の利便性」が悪いと答えた方の主な理由

- ・ バスの本数が少ない。
- ・ 東海大学前駅（真田方面）から平塚駅のバスがない。
- ・ 鉄道の駅が平塚駅しかない。

「道路環境」が悪いと答えた方の主な理由

- ・ 交通量が多いのに、歩道が整備されていない道路がある。
- ・ いつも渋滞している道路がある。

『転出者』

「治安」が悪かったと答えた方の主な理由

- ・ 駅周辺の治安が悪いと感じる。
- ・ 自転車等の盗難にあった。

「交通の利便性」が悪かったと答えた方の主な理由

- ・ バスの本数が少なく、また時間通りに来ないことが多かった。
- ・ 鉄道の駅が平塚駅しかなく、東海道線が止まってしまうと仕事等に通うのが大変だった。
- ・ 最終電車に比べて最終バスが早いため、不便だった。

「自然災害」が悪かったと答えた方の主な理由

- ・ 相模川、海が近いので、大地震が起きたとき、津波発生の可能性があり、心配だった。

平塚市の弱みとして捉え、総合計画の見直しを通じて、克服すべきと考えます。